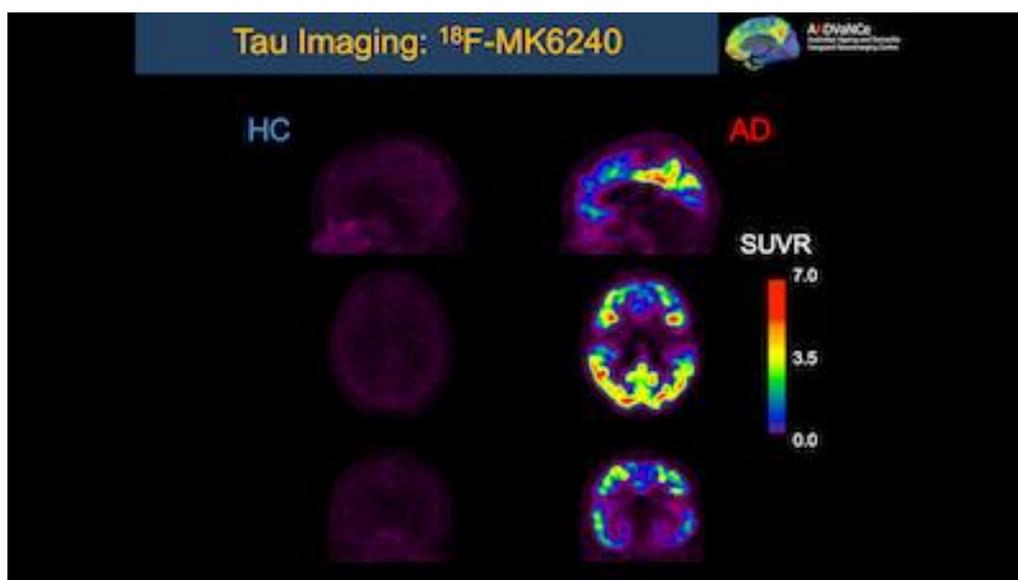


2022年2月28日
日本メジフィジックス株式会社

タウタンパク質を標的とした PET イメージング剤の製造受託契約を締結 ～アルツハイマー型認知症治療薬の開発促進を期待して～

日本メジフィジックス株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:田村伸彦、以下 NMP)は、Cerveau Technologies, Inc. (セルヴォー・テクノロジーズ、本社:米国テネシー州、以下 Cerveau)の開発しているタウ PET イメージング剤^{[18F]MK-6240*}について、NMP の治験薬 GMP 体制下で製造する契約を Cerveau と締結したことをお知らせいたします。

放射性の薬剤である^{[18F]MK-6240}の製造には、放射性物質を取り扱う専用の設備等が必要となります。国内では、これまでに自施設内での研究や治験用として^{[18F]MK-6240}が製造されてきましたが、今後 NMP が製造を受託することで、より多くの製薬企業で^{[18F]MK-6240}を利用することが可能となります。現在は、2022 年後半からの出荷開始を目指し、兵庫県三田市にある兵庫工場にて準備を進めています。



^{[18F]MK-6240} の臨床画像例(左:健常人、右:アルツハイマー病患者)
Courtesy of V. Villemagne and C. Rowe

*1: アルツハイマー型認知症患者の脳の神経細胞には神経原繊維変化と呼ばれる過剰にリン酸化されたタウタンパク質の凝集体が多く見られることから、タウタンパク質をイメージングする^{[18F]MK-6240}は、アルツハイマー型認知症の治療薬開発において注目されています。

【日本メジフィジックス株式会社 代表取締役社長 田村伸彦のコメント】

Cerveau との提携により、日本でタウ PET イメージング剤を製造し、供給できる機会を得たことを大変嬉しく思います。アルツハイマー型認知症は、高齢化社会が進む日本において大きな社会問題となっています。当社は、アルツハイマー型認知症の原因物質の 1 つと考えられているアミロイド β をイメージングする PET 医薬品「ビザミル®静注」を既に上市していますが、今回の提携により^{[18F]MK-6240}を供給することで、アルツハイマー型認知症治療薬の国内開発が更に加速されることを期待しています。

【Cerveau President & CEO Mr. Rick Hiatt のコメント】

[¹⁸F]MK-6240 が脳疾患の患者にどのように貢献できるかを理解するために、NMP と協力する機会が得られたことを歓迎します。アルツハイマー型認知症は世界的な問題であり、特に世界の中でも高齢化が急速に進んでいる日本では、その問題が顕著になってきていると考えています。新しいアルツハイマー型認知症治療薬の治験が盛んに行われるようになり、それらの治験の中で[¹⁸F]MK-6240 はイメージングバイオマーカーの一つとして使用されていますが、今回の我々の提携は、2022 年以降の複数のプロジェクトを支援することになるでしょう。

日本メジフィジックス株式会社について

日本メジフィジックスは、日本における放射性医薬品のリーディングカンパニーとして、製品の安定供給と研究開発に日々取り組んでいます。さらに、これまでに培った技術力と信頼をベースに、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供する新しい医療技術「セラノスティクス(治療と診断の融合)」の研究開発や、ライセンス供与などを通じたアジア諸国での核医学の普及に取り組んでいます。そして、これからも生命関連企業としての価値創造を継続し、社会に貢献してまいります。

Web サイト: <https://www.nmp.co.jp/>

Cerveau Technologies, Inc.について

Cerveau Technologies, Inc.は、アルツハイマー病を含む神経変性疾患に対して有効な診断や技術を世界的に開発している企業です。

本件に関するお問い合わせ先:

日本メジフィジックス株式会社 総務部渉外広報グループ 担当:白井
Tel:03-5634-7006 E-mail:nmp_press@nmp.co.jp